

A病棟におけるプリセプターがスタッフに求める支援

4階東病棟

○佃 雅美 岩村 なぎさ 竹内 陽子 横田 真之

キーワード：プリセプター、支援

I. はじめに

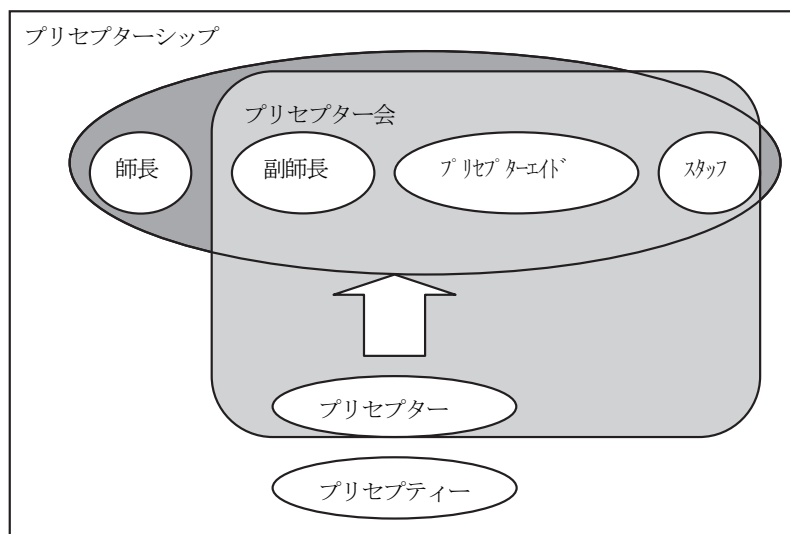
プリセプターシップとは、1人の新人看護師（プリセプティー）に対し、1人の先輩看護師（プリセプター）がペアとなり各部署におけるプリセプターシップに基づき、教育・指導を行う方式であり、A病棟でも取り入れている。しかし、A病棟は循環器・呼吸器・消化器・乳腺外科に加え化学療法や放射線治療、終末期に至るまで幅広い疾患の治療を行う病棟であり、習得すべき技術や知識が多い。更に近年では、日本看護協会¹⁾によると、「新人看護職の基礎教育終了時点の能力と、看護現場で求められる能力との乖離が大きいことが非常に問題となっている。」とされている。そのため、プリセプター1人で新人看護師の教育指導をすることは困難であり、プリセプティーへの対応に変化が求められている。そこで、プリセプターシップに関する既存の文献を調査した。神開ら²⁾は、「プリセプターひとりで責任を負わないように、先輩看護師や上司が指導の相談、助言、代行などの役割意識を持ち、新人指導に介入することが望まれる支援」と述べていた。A病棟でもプリセプター支援を目的に、プリセプターエイドの配置や、プリセプター会の開催により情報の共有をしているが、十分にプリセプターの負担を軽減するには至っていない。また周囲のスタッフにはプリセプターに具体的にどのような支援をすればいいかわからず、十分な支援を行っていない現状がある。そこで、A病棟でプリセプターが必要としている支援を明らかにすることで、今後のA病棟におけるよりよいプリセプターシップの再構築に役立てたいと考える。

II. 研究目的

プリセプターが周囲のスタッフにどのような支援を求めているか明らかにすることで、周囲のスタッフの関わり、支援を見直し、今後のプリセプターシップに役立てる。

III. 概念枠組み

図1 概念枠組み



よりよいプリセプターシップには、プリセプターが一人で責任を負わないように周囲のスタッフが新人指導に介入することが望まれる。矢印はプリセプターが、プリセプターエイド、師長、副師長、スタッフに求める支援を表す。プリセプターが周囲のスタッフに求める支援（矢印）が何かを具体的に明らかにすることにより、よりよいプリセプターシップが再構築される。

[用語の定義]

- プリセプター……………世話役、助言者、役割モデル、適応（社会化）への援助者、指導者。
- プリセプティ―……………プリセプターシップの目的・プログラムの内容を理解し、学習課題を達成するためにプリセプターとの関わりや体験を通じて主体的に学習する。目標達成度について自己評価をする。
- プリセプターエイド…プリセプターの日常的な相談者、助言者、指導者。
- スタッフ……………プリセプター、プリセプティ―以外の病棟スタッフ。
- プリセプター会……………プリセプター、プリセプターエイド、副師長、スタッフが参加し、プリセプティ―の教育・指導に関する情報共有をする会。
- 支援……………周囲のスタッフが行うプリセプターとプリセプティ―への支援。

IV. 研究方法

1. 研究デザイン：質的研究
2. 対象：A病棟で2008～2010年の間にプリセプターをした看護師4名
3. 調査期間：2011年7月
4. データ収集方法：面接法（インタビュー）
5. データ分析方法：KJ法
 - インタビューで録音した内容を逐語的に記録し、逐語記録を繰り返し読み、対象者が語っている内容の意味を崩さないようにプリセプターが求める支援の視点から要約し、それをコード化し、カテゴリごとに分類を行った。

V. 倫理的配慮

研究対象者に、研究目的、方法について説明し、個人が特定されないように匿名性の確保とプライバシー厳守の保証をした。インタビュー内容には番号をつけ、番号によって整理し、鍵のかかるところで研究者が保管した。また、研究への参加は自由意志であり、拒否および中断により対象者が何ら被害を受けないこと、結果は研究以外の目的では使用しないこと、研究結果を学会や学術雑誌において公表する予定であること、研究中の結果の管理および研究終了後の速やかな破棄について文書と口頭で説明し同意書にて承諾を得た。承諾が得られた者のみ面接を行い、承諾の得られた者のみICレコーダーに録音した。

VI. 結 果

表1 対象者の背景

性別	経験年数	プリセプターの経験回数
女性	3年	1回
女性	3年	1回
女性	6年	3回
女性	7年	4回 (A病棟では1回)

対象者の背景を左記に示す。

病棟スタッフの役割の違いによってプリセプターが求める支援の内容が異なると考え、ローデータを<師長><副師長><プリセプターエイド><他のプリセプター><スタッフ><プリセプター会>の6つの役割ごとにKJ法で分析し、プリセプターがそれぞれの役割に求める支援は以下の結果となった。また【 】が大カテゴリー、『 』が小カテゴリー、「 」がローデータを表している。

＜師長＞に求める支援は【勤務・教育体制の調整】【プリセプターへの指導】【プリセプティアーへの指導】【プリセプティアーに関する情報共有】から構成されていた。

＜副師長＞に求める支援は【勤務・教育体制の調整】【プリセプターへの指導】【プリセプティアーへの指導】【プリセプティアーへの精神的援助】から構成されていた。

＜プリセプターエイド＞に求める支援は【プリセプターへの精神的援助】【プリセプターとしての役割の補足】【プリセプティアーに関する情報提供】から構成されていた。

＜他のプリセプター＞に求める支援は【指導や関わり方の相談】【プリセプティアーに関する情報共有】から構成されていた。

＜スタッフ＞に求める支援は【業務の調整】【経験談の提示】【指導や関わり方の相談】【プリセプティアーへの指導】【プリセプティアーに関する情報提供】【プリセプティアーに関する情報共有】【プリセプティアーへの精神的援助】から構成されていた。

＜プリセプター会＞に求める支援は【情報交換・助言・相談の場の提供】から構成されていた。

表2 結果

役割	大カテゴリー	小カテゴリー
師長	勤務・教育体制の調整	勤務調整をして欲しい
		プリセプターとプリセプティアーの組み合わせを工夫して欲しい
	プリセプターへの指導	プリセプティアーへの精神的援助に関して指導して貰いたい
	プリセプティアーへの指導	社会人としてのマナーを指導して欲しい 病棟のシステム・業務のオリエンテーションをして欲しい
副師長	勤務・教育体制の調整	教育体制変更時は相談して欲しい
		勤務調整をして欲しい
	プリセプターへの指導	プリセプターへの教育指導をしてほしい
	プリセプティアーへの指導	社会人としてのマナーを指導して欲しい
プリセプターエイド	プリセプターへの精神的援助	プリセプターを気遣ってほしい 困った時に相談にのって欲しい
	プリセプターとしての役割の補足	自身の知識・経験不足を補足して欲しい 自身の指導不足を補足して欲しい
	プリセプティアーに関する情報提供	情報提供をして欲しい
他のプリセプター	指導や関わり方の相談	指導方法を相談したい
		精神的な関わり方を聞きたい
		悩みを聞いて貰いたい
プリセプティアーに関する情報共有	プリセプティアーに関する情報を共有してほしい	
スタッフ	業務の調整	業務の調整をして欲しい
	経験談の提示	経験談を記載した記録が欲しい
		経験者から経験談を聞きたい
	指導や関わり方の相談	勉強・技術の進め方を聞きたい
		精神的な関わり方を聞きたい
	プリセプティアーへの指導	プリセプティアーへの教育・指導をしてほしい
	プリセプティアーに関する情報提供	プリセプティアーに関する情報を提供してほしい
プリセプティアーの成果の報告をしてほしい		
プリセプティアーに関する情報共有	プリセプティアーに関して共通理解を持って欲しい	
プリセプター会	情報交換・助言・相談の場の提供	情報交換の場であって欲しい
		色々な人の意見・助言を聞きたい
		悩みを相談したい

Ⅶ. 考 察

プリセプターは、〈師長〉〈副師長〉〈プリセプターエイド〉〈他のプリセプター〉〈スタッフ〉〈プリセプター会〉のそれぞれの役割に対して異なる支援を求めていることが明らかとなった。

1. 〈師長〉

A病棟では、副師長の意見を取り入れながら師長が勤務割り表を作成している。【勤務・教育体制の調整】が師長・副師長に求める支援としてあげられていることから、病棟管理者であるこの2者に対して特異的に求めている支援であることが考えられた。また【プリセプティーに関する情報共有】が師長に求める支援としてあげられている背景には、副師長が他のスタッフと同様に、日々の看護業務を通してプリセプティーのフォローをしているのに対し、師長はプリセプティーの情報を得る機会が少ないという現状がある。したがって、師長が、プリセプティーに関する情報を共有する機会を増やし、プリセプティーの身体・精神状態や教育課程などの現状を理解した上で、プリセプティーの状況に合わせた勤務や教育体制の調整を行うことがプリセプターの求める支援となると考える。

2. 〈副師長〉

副師長は師長同様に病棟管理者でありながら、病棟スタッフとしての役割も担っているという点で師長とは異なる存在である。スタッフ同様に、【プリセプティーへの指導】のほか【プリセプターへの指導】が副師長に求める支援であることが明らかとなった。このことより、副師長が、プリセプターシップの総合的な評価をしつつ、プリセプティーの指導方針や方法、目標設定を具体的に提示し、実践での指導を通してプリセプターシップを導いていくことがプリセプターの求める支援となると考える。

3. 〈プリセプターエイド〉

【プリセプターの役割の補足】【プリセプターへの精神的援助】は、他の役割にはなく、プリセプターエイドにのみ求める支援であることが明らかになった。A病棟では、1人のプリセプティーに対し、プリセプターとプリセプターエイドがペアになり、教育や指導にあたっている。プリセプターにとってプリセプターエイドの存在は、自分をバックアップしてくれる存在であり、プリセプティーの指導において相談しやすい身近な存在であると考えられる。そのため、プリセプターエイドが、時にプリセプターの役割を補足するとともに、プリセプターの相談にのるなどの精神的援助を行うことが、プリセプターへの支援につながると考える。

4. 〈他のプリセプター〉

【指導や関わり方の相談】から、プリセプターは他のプリセプターに対し、同じプリセプターという立場から、悩みを共有し、助け合い、問題を解決していこうという思いがあると考えられる。プリセプター同士がお互いに協力、相談し合うことは、精神的負担を軽減し合うだけでなく、プリセプターとしての指導方法や関わり方を見直すといったプリセプター自身の問題解決にもつながる支援となると考える。

5. 〈スタッフ〉

【プリセプティーへの精神的援助】には「若い2・3年目の看護師に心のケアをしてもらいたい」など若年スタッフによるプリセプティーへの精神的援助を求める内容があった。これは、プリセプターがプリセプティーとの経験の差から距離を感じ、プリセプティーへの精神的援助が不十分であると感じていることが要因として考えられる。したがって、プリセプターは若年スタッフに対し、プリセプティーにより近い立場としてプリセプティーの精神面を支える関わりを求めていると考える。

また【プリセプティーへの指導】【業務の調整】【プリセプティーに関する情報提供】【プリセプティーに関する情報共有】から、プリセプターはスタッフに対して、プリセプティーへの指導を通して得られた

プリセプターに関する情報をプリセプターにフィードバックすることで、一貫した指導の継続を図るとともに業務の調整を行うことを支援として求めていると考えられた。その背景には、毎勤務継続してプリセプターがプリセプティーターを指導することが困難であることが考えられた。

さらに、スタッフに求めている支援としては、【経験談の提示】が明らかとなった。プリセプターは、プリセプターを経験したことのあるスタッフには前述した支援だけでなく、指導者としての役割モデルを示しながらプリセプターに関わっていく支援を求めていると考える。

6. <プリセプター会>

<副師長>を除く全ての役割に対し、“情報の共有・提供・交換”という言葉がカテゴリー内に含まれていた。これらは病棟スタッフ全体に対し、プリセプターが求めている支援と捉えることができるのではないだろうか。プリセプター会には【情報交換・助言・相談の場の提供】があげられていることから、病棟スタッフがプリセプティーターやプリセプターシップに関する情報を共有・提供・交換できる場の提供を今後も継続していくことが、プリセプターへの支援になると考える。

7. まとめ

今回の研究により、プリセプターが周囲のスタッフに求めている支援は、スタッフ全員がプリセプティーターの教育課程などの情報を共有する、スタッフ各々が自分の役割を理解しプリセプターシップの一員としての役割を担う、であることが明らかとなった。永井は、「職場メンバーによるプリセプターシップへの協力体制を築くために、①目標・計画実施状況のオープン化、②職場メンバーの新人指導役割の明確化が重要である」としている。つまり、スタッフが明確に各役割を理解し情報を共有することで、プリセプティーターへの有効な関わりにつながり、よりよいプリセプターシップが構築されると考える。

今後、この研究結果をA病棟でのよりよいプリセプターシップの構築のために活用したいと考える。また、今回の研究では、プリセプターが各役割に求める支援を具体的に明らかにすることはできたが、研究対象者数が4名と少なく、研究結果を一般化するには限界があると考ええる。

結 論

今回の研究で、プリセプターは各役割に以下の支援を求めていることが明らかとなった。

<師長>には【勤務・教育体制の調整】【プリセプターへの指導】【プリセプティーターへの指導】【プリセプティーターに関する情報共有】を求めている。

<副師長>には【勤務・教育体制の調整】【プリセプターへの指導】【プリセプティーターへの指導】【プリセプティーターへの精神的援助】を求めている。

<プリセプターエイド>には【プリセプターへの精神的援助】【プリセプターとしての役割の補足】【プリセプティーターに関する情報提供】を求めている。

<他のプリセプター>には【指導や関わり方の相談】【プリセプティーターに関する情報共有】を求めている。

<スタッフ>には【業務の調整】【経験談の提示】【指導や関わり方の相談】【プリセプティーターへの指導】【プリセプティーターに関する情報提供】【プリセプティーターに関する情報共有】【プリセプティーターへの精神的援助】を求めている。

<プリセプター会>には【情報交換・助言・相談の場の提供】を求めている。

引用・参考文献

- 1) 日本看護協会 <http://www.nurse.or.jp/home/kisokyouiku/pdf/hokoku.pdf> 2011/5/30
- 2) 神開知子, 小路真由, 池本まゆみ: プリセプターの困難と望む支援, 日本看護学会論文集 (看護管理), (37), 240-242, 2007.
- 3) 鯉田浩子, 井藤ゆか, 寺下浩美, 藤原明子, 西野弘員: プリセプター教育の現状と今後の教育・支援体制の在り方—プリセプターの不安・達成感の把握から—, 日本看護学会論文集 (看護総合), (38),

92-93, 2007.

- 4) 板垣美樹：プリセプターシップを支えるサポーターの困難さとその要因，神奈川県立保健福祉大学実践教育センター看護教育研究集録，(34)，117-124，2009.
- 5) 室田邦子，濱口紀美子，吉本好子，倉橋寿重子，小嶋伊都子：プリセプター支援体制の実態－アンケート調査より－，京都府立与謝の海病院誌，5 (1)，94-98，2008.
- 6) 大谷麻紀子，川石文子，板村明子，江本しず子：プリセプターシップを支援するプリセプター会の運用と効果，日本看護学会論文集（看護教育），(38)，135-137，2008.
- 7) 大野志津子：プリセプターシップにおけるサポーターの効果的な介入について，日本看護学会誌，15 (2)，97-103，2006.
- 8) 中間文子，原朋子，加藤直美，岡崎智子：プリセプターの支援体制の現状と課題－アンケートによる意識調査－，名古屋市立大学病院看護研究集録，(2004)，38-42，2005.
- 9) 浅雄孝，菅原真知子，戸田範江，八木真智子，山崎みどり：プリセプターへの支援を考える～精神科プリセプターへのインタビューを通して～，鳥取臨床科学研究会誌，1 (1)，182-185，2008.
- 10) 唐澤由美子，中村恵，大脇百合子：プリセプターが職場と教育機関に望む支援，日本看護学会論文集，看護管理，(39)，300-302，2009.
- 11) 藪下八重，岡本恭子，藁科佳代，中山美代子，小松仁美，古屋敷久美，本田安珠美，岩室みち子：プリセプター支援の現状とニーズの明確化，日本看護学会論文集，看護教育，(35)，45-47，2005.
- 12) 石崎邦代，澁谷恵子，三上智子：看護管理者の考えるプリセプター役割と支援の分析からのプリセプター支援検討 プリセプター支援体制について，日本看護学会論文集，看護教育，(39)，160-162，2009.
- 13) 澁谷恵子，石崎邦代，三上智子：プリセプターの困難と思いの分析からのプリセプター支援検討 支援体制・時期、研修企画にについて，日本看護学会論文集，看護教育，(39)，157-159，2009.
- 14) 永井則子：プリセプターシップの理解と実践 新人ナースの教育方法，日本看護協会出版会，149-150，2007.